

1. 全体評価 (表1)

	基礎科目	専門基礎科目	専門Ⅰ	専門Ⅱ	統合	
自己評価	授業に目的を持って臨んだか	3.8	3.8	4.2	3.6	3.6
	予習したか	3.0	3.1	3.6	3.2	3.0
	復習したか	3.2	3.3	3.7	3.4	3.1
	授業中に質問をしたか	3.1	3.1	3.7	3.4	2.9
	疑問を解決する努力をしたか	3.5	3.6	4.0	3.6	3.3
平均	3.3	3.4	3.8	3.4	3.2	
授業評価	学習目的、テーマは明確だったか	4.0	4.0	4.3	4.0	3.5
	学習内容は理解しやすかったか	3.9	4.0	4.3	4.0	3.5
	授業内容は多くもなく少なくもない	3.9	4.0	4.2	3.9	3.5
	教員の一方的な授業ではなく学生も参加できたか	4.0	4.0	4.3	4.0	3.6
	多様な学習方法で授業を展開したか	4.0	3.9	4.3	4.0	3.5
	教員が提示した資料は理解しやすかったか	4.0	4.0	4.3	4.0	3.5
	教員は学生を尊重した態度で授業を展開したか	4.1	4.1	4.4	4.0	3.6
	教員は学生の反応を見ながら授業を展開したか	4.1	4.1	4.4	4.0	3.6
	教員の声は明瞭で聞きとりやすかったか	4.1	4.0	4.4	4.0	3.8
	授業全体に対する充実感や満足感はあったか	3.9	4.0	4.3	4.0	3.5
平均	4.0	4.0	4.3	4.0	3.6	

2. 科目別評価

1) 基礎分野

科目別の自己評価及び授業評価は資料1の通り。

自己評価の平均点は、3.3で、授業評価は、4.0であった。

授業評価の平均点の高かった科目は4.5。低かった科目は3.0であった。

その理由は、高かった科目は学生の日ごろの看護業務にすぐ影響を及ぼす内容、わかりやすい内容で。

低かった科目とは、指導とか教育については、学生にとっては関心の薄い内容のものである。

改善点として、シラバスで、学ぶ内容やその必要性を実感できるように提示方法を検討していく必要があるのではないか。

2) 専門基礎分野

科目別の自己評価及び授業評価は資料1の通り。

自己評価の平均点は、3.4で、授業評価は、4.0であった。

授業評価の平均点の高かった科目は4.4、低かった科目は3.3であった。

その理由は、科目の内容の広いものは低く、内容が絞られているものは高かった。

改善策としては、看護ケアにどう活用していくか、イメージできるような動機付けについて授業方法について講師と教員とで検討をしていく。

3) 専門 I

科目別の自己評価及び授業評価は資料 1 の通り。

自己評価の平均点は、3.8 で授業評価は、4.3 であった。

授業評価の平均点の高かった科目は。低かったのはであった。

その理由は、学習内容がイメージしやすく、看護技術など看護実践にすぐ活用する内容のものは技術がうまくなりたいなど、内容への関心・学習のニーズも高く、学生が疑問を持って取り組むことができているためである。

改善点としては、単に技術の習得や手を覚えるのではなく、考え方を習得するあるいは他の領域の学習内容と関連させて看護を考えていく、あるいは疑問をもってその学習内容を深めていく必要性など理解させていく授業内容を検討していく。

4) 専門 II

科目別の自己評価及び授業評価は資料 1 の通り。

自己評価の平均点は、3.4 で、授業評価は、4.0 であった。

学生の体験と結び付けていくような授業の方法を検討していくよう講師と調整をしていく必要がある。

2) 統合分野

科目別の自己評価及び授業評価は資料 1 の通り。

自己評価の平均点は、3.2 で、授業評価は、3.6 であった。

専門分野 II も統合分野も、知識を活用して統合する学習の仕方への支援をしていく必要がある。

改善点として、ものを考える、創造する力、読み取る力をつけるような学習支援を強化していく。

あるいは予習を強化する、科目に関連した国家試験問題を予習として実施するなどよう課題を提示するなど具体的教科方法を検討する。